



～友愛～

富田中学校だより

学校教育目標 「確かに生きる」 令和 4年 2月18日 No.23

□ 1・2年生 学年末テスト

22日(火) 24日(木)～25日(金)の3日間、1・2年生にとって本年度最後の定期テストとなる「学年末テスト」を実施します。1・2年生の皆さんは、1年間の集大成として、これまで以上に気合いを入れて取り組んでほしいと思います。

今回のテスト結果を加味した成績は、「学年末の成績」、即ちその「学年の成績」となります。1年後2年後の進路選択の際に、多くの高校の調査書(内申書)に記載されるのは3年生の成績だけではありません。それぞれの「学年末の成績」も記載されることが多いのです。(県立高校は必ず記載されます。)だからこそやり残したことがないように、しっかりと準備して臨んでください。

また、学年末テスト終了後には、各自で1年間の学習面や生活面をしっかりと振り返る時間を持ちましょう。いよいよ進級に向けてのカウントダウンです。3学期は三者懇談会がありませんが、テスト終了後、一息ついたら、気持ちをリセットして、まとめとともに次年度に向けての準備もはじめましょう。



□ 2年生 職業講話 ～働くプロに学ぶ～

2日(水)と9日(水)の2日間、2年生が職業講話を聴きキャリア学習を行いました。

例年、富田中学校は1学期に職場体験学習を実施していました。昨年度(現3年生)は1学期に職場体験学習の中止を決め2学期の終わりに職業講話を聴きました。今年度はコロナの収束を見越して(願って!?)年度当初から1月の最終週に職場体験学習を計画していましたが、コロナウイルスの感染状況から実施は難しいとの判断で、今年度も職場体験学習を中止し昨年度同様に職業講話を計画しました。

今回の職業講話では2日間で4名のゲストティーチャーをお招きし、4つの職業についてのお話をさせていただきました。4名の方の職業、勤務先、お名前は以下の通りです。

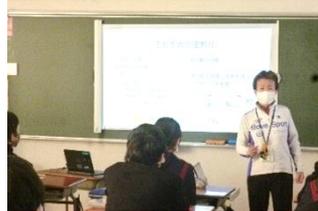
- ① 幼児保育関係 ユマニテク短期大学幼児教育学科 准教授 田村 禎章さん
- ② 介護福祉関係 ユマニテク医療福祉大学校介護福祉学科 学科長 伊藤 幾代さん
- ③ 報道関係 中日新聞四日市支局 記者 神尾 大樹さん
- ④ 調理・飲食関係 農業レストランフラーレ オーナーシェフ 北村 光弘さん

①の田村さんからは、新聞紙を使った遊びなどを体験しながら保育職について学びました。幼児にとって遊びは学びであること、その学びを通して幼児を成長させること、そして守り教えることが保育という職業であるということを学びました。

②の伊藤さんからは、介護職とは介護を必要とする方の周りの環境を変える援助を行い、その方らしくいきいきとした暮らしを実現する職業であるということを学びました。



①「保育」 田村 禎章さん



②「介護」 伊藤 幾代さん



③「報道」 神尾 大樹さん



④「調理」 北村 光弘さん

③の神尾さんからは、実際に新聞を読みながら新聞のすばらしさと新聞ができるまでの流れ、そして記者の仕事内容を教えていただきました。また、新聞記者になったきっかけは、プロ野球選手になることを夢見て野球をずっと続けていたが、あるときプロになるのは難しいと悟り、それならばその大好きな野球に少しでも携われる職業は何かと考えて新聞記者になったそうです。「一つのことを一生懸命やり続けることが自分の自信と強みとなるので、そのような熱中できるものを大切にしてください」とのアドバイスもいただきました。更に「自分の書いた記事で人から人へと情報の輪が広がり世間から反応がある、その瞬間がやりがい」と語ってくれました。

④の北村さんからは、理論を学び実践することを何度も繰り返し、より素晴らしい味を追求し続けながらお客様を幸せにすることがシェフという職業だと学びました。また、「ロマンを語る人は夢を叶えることができる人」、「働くことは周りを楽にすることで、そこから働くことが楽しくなる」などの、働くことの意義についても学びました。

今回の4つの職業が生徒それぞれのニーズにぴったり合っていることは少ないかも知れません。しかし、それぞれの道のプロの方々の話を生で聴くことにより、得るものも大きかったと思います。今回4名のプロからその生き方を学ぶとともに働くことの意義やそれぞれの職業の内容、大変さややりがいなどを学ぶことができました。2年生の皆さんには、今回の職業講話で学んだことを活かし、自分の将来の仕事や進路選択につなげてほしいと思います。

キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」のことです。また、「キャリア」とは、「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね」という意味でもあります。

学校としては、今回のように職業について具体的に知る機会をつくることも大切ですが、毎日の学校生活や授業を通して「社会人として自立した人」となるよう育てていくことが重要だと考えます。

本校の教育目標「確かに生きる」を丁寧に言うと、「社会人として自立し、確実に生きることができる人」となります。生徒がそうした社会人となるよう、学校だけでなく保護者や地域みなさんと協働しながら、「授業を大切に学校」「一人ひとりを大切に学校」「保護者や地域と協働し高め合う学校」の三つの決意のもと、取り組んでいきたいと思ひます。

□2年生 第2回みえスタディチェック CBT

4日（金）2限目～4限目、2年生で本年度2回目となる三重県独自の学力調査「みえスタディチェック」を実施しました。今回、新たに採用されたCBT（Computer Based testing）とは、一人1台のタブレット端末を使い解答する方法のことです。

4月15日（木）に1・2年生で実施した第1回目は、CBTではなく昨年度までと同じ紙面での解答でした。しかし、2年生は来年度のCBT本格実施に向けて、11月29日（月）にCBTの練習を兼ねたスタディチェックを行い、今回は、実際にCBTで行いました。CBTのメリットは、テスト終了後すぐに自動採点、集計等が行われ、生徒一人一人や学級・学年の傾向、強みや弱みなどがはやく把握できることです。

今回、スムーズにできたところもありましたが、画面の文字が小さくて見にくかったり、送信に時間がかかったりなどの課題もありました。今後は改善点を県や市の教育委員会とも共有し、生徒の学力向上に、より生かせるように活用していきたいと思ひます。

